



慶應義塾大学ビジネス・スクール

平田牧場と新田嘉一

株式会社平田牧場は 1967 年に設立された養豚・食肉加工・販売・外食を事業とする会社で、
 本社は山形県酒田市にあり、平田牧場を中核とするグループの売上高は 230 億円、従業員は約
 1000 名、山形で有数の成長企業であった。16 代続く小地主の長男として 1933 年山形県庄内地方
 の平田町（現酒田市）で生まれた新田嘉一氏は、庄内農業高校を卒業して進学を望んだが父親に
 反対され、農業は弟に任せて養豚業を始め、さまざまな苦境と強運にもまれながらも、18 歳で
 独立したときに心に誓った夢、日本一の養豚業者になるという目標によりやく到達したと感じて
 いた。平田牧場の経営は長男の新田嘉七社長にほとんど任せ、新田会長の活動は「東方水上シル
 クロード」構想の実現をはじめ、ふるさと山形・庄内地方の経済・社会的発展をめざす公益活動
 に軸足を移していた。

5

10

15

起業家・新田嘉一氏は語る

ケースライター（以下に CW）は 2008 年 5 月、酒田市の平田牧場本社で新田嘉一会長（以下新
 田氏）のインタビューを行った。

20

CW：なぜ若くして起業したのですか？

新田氏：父は小地主でしたが戦後農地解放によって土地を失った稲作農家でした。私は稲作農業
 では先行きが暗いと考え、この生活が一生続くかと思うと耐えられなかった。農家の後継ぎは

本ケースは東北公益文科大学 大学院教授 石田英夫が作成した。ケースは経営管理の適切あるいは不適切な処理
 を例示するものではない。ケースの作成にあたっては株式会社平田牧場 会長 新田嘉一氏をはじめ、社内外の方
 のご協力をいただいたことを記し、謝意を表したい。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾
 大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:
 case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可
 を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法
 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 石田英夫 (2009 年 1 月作成)